

第二十六回帝國議會  
衆議院

# 印紙稅法中改正法律案外四件委員會會議錄(速記)第四回

會議

明治四十三年二月九日午後一時五十八分開議

出席委員左ノ如シ

- |         |         |         |
|---------|---------|---------|
| 佐竹 作太郎君 | 阿部 政太郎君 | 坂本 元明君  |
| 橋本 久太郎君 | 花村 覺三郎君 | 佐々木 文一君 |
| 村井 善四郎君 | 山岡 國造君  | 徳田 讓甫君  |
| 高木 益太郎君 | 加瀬 禎逸君  | 橋本 太吉君  |
| 安東 敏之君  | 豐増 龍次郎君 | 須藤 嘉吉君  |
| 小野崎 耕夫君 | 佐藤 庫喜君  | 内藤 利八君  |
| 鈴木 惣兵衛君 | 高橋 文質君  | 國井 庫君   |

司法省參事 齋藤十一郎君  
官法學博士 大藏書記官 吉川 良矩君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

## 印紙稅法中改正法律案

民事訴訟用印紙法中改正法律案  
商事非訟事件印紙法中改正法律案  
行政訴訟書類印紙貼用廢止ニ關スル法律案

○委員長(佐竹作太郎君) 是ヨリ開會致シマス、印紙稅法外三件ニ關シテ特別調査委員ヲ前回ニ設ケマシテ、其特別調査委員ノ調査ノ結果ヲ主査ヨリ御報告ニナリマス

○高木益太郎君 特別調査委員ハ調査ノ結果行政訴訟書類印紙貼用廢止ニ關スル法律案ハ全部政府案ノ通り、可決スベキモノト致シマシタ、其他民事訴訟用印紙法中改正法律案、商事非訟事件印紙法改正法律案ニ付キマシテハ、御手許ニ配付シテゴザイマス通りニ修正ヲ爲スベキモノト認メマシタ、此三ツノ法律案ニ付テ大體ノ改正ハ非常特別稅ヲ以テ増貼セシメタル印紙ハ之ヲ廢止スルト云フコトガ、一番影響ノ大キナ問題デアリマス、之ニ對シテ特別調査委員會ニ於テ、政府委員ハ若シ此修正案ノ通り可決セラレルトニナルトドウ云フ影響ヲ生ズルカト云フ點ニ對シ印紙稅ニ付テハ非常特別稅ノ増貼ニ付テ百二十五萬圓、定率ニ於テ二十九萬圓、合計減額ガ百五十四萬圓ニナル、ソレカラ民事訴訟用印紙、商事非訟事件印紙、此等ニ付テノ影響ハ非常特別稅ニ付テ増貼額ノ上テ三十二萬五千圓定率テ十三萬七千圓、合計四十六萬二千圓ノ減額ニナル斯ウ云フ御説デアリマシタ、併ナガラ民事訴訟用印紙ノ方ニ於キマシテハ、此修正案ノ通り修正シテソレカラ印紙稅法ノ上ニ於キマシテハ、此印紙稅法ノ第五條第九號ニ「金高五圓未満若ハ金高記載ナキ送狀受取書又ハ賣買仕切書」トゴザイマスル下ニ、「金高一圓未満ノ物品切手」ト云フ十一字ヲ加フルコト、シテ

一圓未満ノ物品切手ハ、印紙稅ヲ納ムルコトヲ要セスト云フコトニ直シ、ソレカラ同條十五號ノ次即チ十六號ノトコロニ「貯金通帳」ト云フ新項目ヲ設ケマシタ、結局貯金通帳ハ免稅ノコトニ決定致シマシタ、是ハ商品ニ付テハ、例ヘバ二十五錢二十錢ノ茶又ハ經節ノ切手ニ付テ、三錢印紙ヲ貼用スルト云フコトハ甚ダ苛酷ニ失スルコトデアリス、貯金通帳ヲ免稅スルト云フコトハ、遞信省ニ於テ貯金通帳ヲ發行スル場合ニハ無印紙デアリマス、然ルニ民間ノ銀行ニ於テ貯金通帳ヲ發行スル場合ニハ印紙ヲ貼ラナケレバナラヌト云フノハ不權衡ノコトニナル、然ニ此當座貯金ナドト違ッテ貯金通帳ハ多クハ金額ノ少イモノデアツテ、殊ニ政府ハ貯金ヲ獎勵スルト云フ趣意ヲ小學校ノ生徒ニ向ッテモ一箇月二十錢ナリ三十錢ナリノ貯金ヲナセト云フヤウナ事柄ニ就イテ力ヲ盡シテ居ル僅カ二十錢三十錢ヲ持ッテ來ルモノニ其貯金通帳ニ相等ナ印紙ヲ貼用サセルト云フノハ甚ダ面白クナイ事柄デアルト云フノデ、是ハ委員會ニ於テハ全會一致ヲ以テ修正スベキモノト決シマシタ、大體其通りテゴザイマス、細目ハ此修正案ニ就テ御覽下スツテ御審議ヲ願ヒマス

## 民事訴訟用印紙法中改正法律案修正

- 第六條 左ニ掲グル申立又ハ申請ニハ二十錢ノ印紙ヲ貼用スヘシ
- 一 支拂命令ノ申請
- 二 期日ノ變更辯論ノ延期又ハ辯論期日ノ指定ノ申立
- 三 中斷又ハ中止シタル訴訟手續ノ受繼ノ申立
- 四 從參加ノ申請
- 五 忌避ノ申請
- 六 和解ノ申立
- 七 答辯書
- 八 強制執行ノ停止又ハ執行處分ノ取消ノ申立
- 九 配當要求
- 十 家資分散者ノ復權ノ申立
- 十一 強制競賣又ハ強制管理ノ申立
- 十二 債權又ハ他ノ財產權差押ノ申請
- 十三 民事訴訟法第七百三十二條乃至第七百三十四條ノ申立
- 第六條之二 左ニ掲グル申立又ハ申請ニハ五十錢ノ印紙ヲ貼用スヘシ
- 一 抗告
- 二 故障
- 三 假差押又ハ假處分ノ申請
- 第十條ヲ削ル
- 第十六條 非訟事件ニ關スル申立又ハ申請ニハ二十錢ノ印紙ヲ貼用スヘシ但第

六條ノ二ノ規定ハ非訟事件ニ之ヲ準用ス  
 左ニ掲クル申立又ハ申請ニハ五十錢ノ印紙ヲ貼用スヘシ  
 一 裁判上代位ノ申請  
 二 競賣法ニ依ル競賣ノ申立又ハ之ニ關スル抗告第十一條及第十二條ノ規定  
 ハ之ヲ非訟事件ニ準用ス

附則  
 本法ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス  
 非常特別稅法中民事訴訟用印紙ニ關スル規定ハ之ヲ廢止ス

印紙稅法中改正法律案修正  
 第五條第九號賣買仕切書ノ下ニ「金高一圓未満ノ物品切手」ヲ十一字ヲ加ヘ同  
 條第十五號ノ次ニ「貯金通帳」ヲ四字ヲ加フ  
 第十二條中「二十圓以下ノ罰金」ヲ「二圓以上ノ科料」ニ改ム  
 附則

本法ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス  
 非常特別稅法中印紙稅ニ關スル規定ハ之ヲ廢止ス

商事非訟事件印紙法改正法律案修正  
 非常特別稅法中商事非訟事件印紙ニ關スル規定ハ明治四十三年三月三十一日  
 限リ之ヲ廢止ス

行政訴訟書類印紙貼用廢止ニ關スル法律案  
 政府案ノ通り可決

○安東敏之君 此印紙稅法中ノ十二條ノ修正デスガ、罰金ノ程度ヲ定ムルニ當  
 テ「二十圓以下ノ罰金」ト云フノ「二圓以上ノ科料」ト云フコトニ改メテアリマスガ、凡  
 ツ刑罰ノ科スル上ニ於テ最低度ヲ示シテ最高度ヲ示シテ居ラヌト云フノハ頗ル不安  
 ノ念アルコト、思ヒマス、二十圓ト云フノガ餘リ輕キニ失スルト云フ御考ナラバ其高ヲ上  
 ホスコトハ別段ト致シマシテ、此低度ヲ示シテ高度ヲ廢スルト云フコトハ其當ヲ得ヌ修  
 正デラウト思ヒマス、是ハ當局ノ御意見ハドウ云フ積リテ斯ウ云フ御改正ニナツタノデア  
 リマスガ、政府委員ニ伺ヒマス

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 御承知ノ通り刑法十七條ニハ科料ハ最高  
 額ガ二十圓トナツテ居リマスデ、ソレテ斯ウシテ過ギマセヌ、結果ハ一ツモノニナリマス  
 ○安東敏之君 法典ハ持チマセヌガ、商法ノ科料ハ確カ二十圓以上ノモノガアツタト  
 思フガ、ソレニ對スル配合ハドウ云フ御考デスガ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 商法ノ規定ハ私ノ記憶デハ過料ノ方デ科  
 料ノ方デハナイト思ヒマス、過料ハ民事罰デ、科料ハ刑事罰デ性質ガ違ヒマス、故ニ影響  
 ハナイト考ヘマス

○豐増龍次郎君 チョット御尋ネシマスガ、民事訴訟法ノ印紙貼用額ハ非常特別稅  
 課シタ前ト後ト二十二圓圓バカリノ違ヒニシカナラヌト云フ 政府ノ説明デアルト云フ  
 コトヲ伺ヒマシタガ、非常特別稅課シタ前ト後ト比ベテ却テ後トノ方ガ減ツテ居ルト云フ

コトヲ聞イテ居ルガ、サウデアルト他ノ方ハ別トシテ民事訴訟ニ關スル増徴ハ、收入上大  
 體不利益ト云フ結果ニナリハセナイカ、ソレカラ此修正案ガ單ニ民事訴訟用ノ印紙ニ關  
 スル分ノ非常特別稅ヲ繼續シナイコトニナツテ、他ハ切込マヌコトニナツタナラバ政府ハ此修  
 正案ニ同意ガ出來マセヌカ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 唯今手許ニアル統計デスト、三十四年、卅  
 五年、卅六年度三箇年ノ即チ非常特別稅ガ行ハレヌ時代ノ印紙貼用額ガ三十四年  
 ハ七十三萬五千圓、三十五年ハ七十五萬一千圓、三十六年ハ八十一萬八千圓、ソ  
 レカラ實施後ニハ三十七年ガ百九萬八千圓、三十八年ガ九十七萬三千圓、三十九  
 年四十年四十二年ハ九十萬圓カラ八十萬圓迄ノ間デアリマスカラ、前後デ三十三萬  
 圓——先ヅ二十餘萬圓ノ差デアリマス

○豐増龍次郎君 チョット其事件數ハ……

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 手許ニアルノハ區裁判所デ、若シ非常特別  
 稅ガ件數ニ影響シタモノトスレバ、區裁判所事件ガ最モ著シト思フカラ、之ハ參考ニ  
 ナルト思ヒマス、三十二年乃至四十一年ノ十年間デアリマスガ、最モ多キハ三十六年  
 ノ十一萬八千件、非常特別稅實施後最モ多キハ三十八年ノ八萬四千件デ、ツマリ七  
 萬カラ十萬ノ間上下シテ居ツテ、著シク減ジタ形ハアリマセヌ

○加瀬禮逸君 政府委員ノ説明ニ依レバ非常特別稅施行前ノ計數ト施行後ノ計  
 數上ノ間ニ著シキ差ガナイト云フ御話デスガ、三十六年ガ十一萬ナンボトシテ、其中ガ  
 七八萬ノ間トシテモ、三萬内外ノ減少ヲ來シテ居ル、世ノ中ハ進歩スルニ從ツテ取引關  
 係ハ複雜ニナツテ、訴訟ガ増加スル事實ガアルニ反シテ、却テ訴訟ノ數ガ少ナクト雖モ減  
 少シテ居ルト云フコト何ニカ原因ガナケレバナラヌ、畢竟是ハ非常特別稅法施行後印  
 紙ノ過徴ヲシタト云フコトガ、其一因ヲ成シテ居ルト思ヒマスガ、政府委員ノ考ハドウテ  
 アリマスガ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 訴訟ノ増減ハ種々ノ原因カラ生ズルモノデ、  
 日清戰爭後モ件數ガ減ジタ事實ガアリマス、三十三年、三十七年ハ件數ハ十萬ヲ超シ  
 テ居リマシタガ、三十八年、三十九年ト減シテ四十年、四十一年ハ又増シテ往ク傾ガア  
 ル、四十一年ハ四十年ヨリ約五十件増シテ居リマス、故ニ經濟ノ關係ヤライロノ原因  
 因ガアルト思ヒマスノデ、必シモ訴訟ノ稅ガ高クナツタノガ唯一ノ原因ト政府ハ認メテ居リ  
 マセヌ、無論政府督促手續ハ減ツテ居リマス、是ハ確ニ非常特別稅ノ影響ヲ受ケテ居ル  
 ト思ヒマス

○加瀬禮逸君 其數ハドウ位デスガ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 三十五年ハ三十五萬四千件以上、三十  
 六年ハ三十八萬五千件以上、三十七年ハ三十三萬六千件以上、丁度此時ニ非常  
 特別稅ガ施行ニナリマシタ、三十八年ガ二十四萬件以上、三十九年ガ二十萬件以上、  
 四十年ガ十八萬件以上、四十一年ガ二十萬件以上、斯ウ云フコトニナツテ居リマス

○高木益太郎君 大藏省ノ政府委員ニ御尋シマスガ、或人ガ送狀ヲ發送シタガ印紙  
 規則ニアル通り消印ガシテナイノガ、千葉縣ノ八日市場ノ商人ノ店ニアツタノヲ稅務官吏  
 ガ發見シテ、僅カ三錢ノ印紙ノ貼リ方ガ惡イト云フノデ、八日市場ノ區裁判所カラ東

京ノ日本橋ニ住ム商人ニ向テ主人モヤッテ來イ番頭モヤッテ來イト云フヤウナ具合デ、兩名ニ呼出狀ヲ發シタ事件ガアリマス、刑法上ノ罰デモナイ、僅テ收稅上ノ問題ニ過ギナイコトニ付テ而モ八日市場ノ檢事局ニ東京カラ來イト云フ呼出狀ヲ發シタ事實ガアルノデアリマス、斯ウ云フコトハ昨年七八月頃ニ八日市場ニアッタノデスガ、ヤハリ將來モ此方針デドシ、御ヤリニナル考ヘデアリマスガ、伺ッテ置キタイノデス、大藏省ノ政府委員デナクとも司法省ノ政府委員デモ宜シイ

○政府委員(吉川長矩君) 御答致シマス、今引用ニナッタ例ヘハ法律上正當カモ知レマセヌガ如何ニモ常識ヲ外ツシタコト、認メマス、サウ云フコトハ法律ノ根據ガアルトシテモ成ルベク避ケルコトヲ希望シテ居リマスノデ、出來ル限リ穩當ナル手段ニ出ヅルコトヲ訓令シテ置キ積リデアリマス

○高木益太郎君 サウ云フ場合ハ日本橋ノ商人ヲ千葉ノ八日市場マデ呼出サナイデ、千葉ノ役人カラ東京ノ役人ニ囑託シテ、日本橋管轄ノ檢事局ヲ用ガ濟マヌヤウニシテ貫ヒタイと思ヒマスガ、如何デスカ

○政府委員(吉川長矩君) 唯今ノ御質問——ト云フヨリモ御注意ノコトハ御尤ニ存ジマスカラ、成ルベクサウ云フコトノ出來ルヤウニ將來考ヲ廻ラシマス

○高木益太郎君 印紙稅法ノ物品切手ハ一圓以上ニ限ッテ課稅スル、貯金通帳ハ免稅ト云フコトハ政府モ同意デアリマスガ、如何デスカ

○政府委員(吉川長矩君) 其事ハ稅額ニ多少影響致シマスルシ外トノ關係ガアリマスカラ政府トシテ御同意致シ兼ネル次第デアリマス

○安東敏之君 督促手續ニ付テハ司法省ノ政府委員カラ御説明ガアリマシテ、數字カラ言フト殆ト半數ニナッタト云フコトハ明カナ事實デアリマスガ、督促手續ハ其仕拂ヲ簡單ナラシメテ、訴訟ヲ簡單ニ解決スル所以ノ途デアリマスノニ、ソレガ全國通シテ半減スルト云フ著シキ減少ガ現ハレテ居リマスノデアリマスガ、之ニ對シテ政府ハ御同意ガ出來ルト云フデアリマスガ、此修正案ニ御同意ガ出來ヌト云フデアリマスガ、其邊明カニ聽イテ置キタイ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 御質問ノ修正案ト仰シヤルノハ、特別調査委員會ノ決議デアリマスガ

○安東敏之君 左様デス

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 是ハ司法省側ヨリモ却テ大藏省側ノ方カラ御答スルノガ順序ト思ヒマスガ、督促ノ手續ノ關係モゴザイマスカラ、私カラ申上ゲマスガ、ツマリ此件數ノ減ッテ居リマスコトハ唯今申上ゲタヤウナ事實デアリマスケレドモ、此減リ方ガ非常特別稅法ヲ認メラレタ督促手續ノ過超額ヲ全廢セハナラヌト云フ程ノ程度マデヒドイモノデアルト政府ハ認メテ居リマセヌカラ、ツマリ民事訴訟用印紙法ノ改正ヲ提出シタ次第デアリマス、此點ニ付テハ修正案ニハ御同意致シ兼ネルノデアリマス

○鈴木總兵衛君 政府委員ニ質問シマスガ、唯今ノ御答辯ニ據リマス、物品切手並ニ貯金通帳ニハ同意ガ出來ヌト云フコトニ承知シマシタガ、此貯金通帳ト云フモノハ地方ニ於テハ是マデ種々ノ迷惑ヲ感ジテ居ル、最モ小言ガ多イノデアリマス、又前年政府ハ貯蓄銀行ノ改正條例ヲ出サレタ時ニモ、貯金ノ通帳ハ免除ト云フ條文ガアッタコト

ニ記憶シテ居リマスガ、ソレハ終ニ成立ニ至ラズ議會ハ閉會ニナリマシタメニ、立消同様ニナッテ居リマスガ、明カニ此簡條ハアッタト記憶シテ居リマス、物品切手ニ今日二十錢ニ付テ二錢ノ印紙ヲ貼ランナラヌト云フコトハ、非常ニ迷惑デアル、自分ハ物品切手ハ三圓以上トシタ方ガ適當デアルト云フ意見ヲ有ッテ居リマシタガ、此調査會ハ一圓以上トナッタカラ讓ッテ同意シタノデアリマスガ、今是等ニ御同意ニナラヌト云フノハ如何ナル意味デアルカ、或ハ相當ナル理由ガアルカ、果シテ其理由ガアリマスレバ一應聽キタイ

○政府委員(吉川長矩君) 前年貯蓄銀行法改正ニ於テサウ云フ貯蓄預金ノ通帳ハ免除スルト云フコトガ、有ツタカ無カッタカト云フコトハ私ハ不幸ニシテ存ジマセヌガ、今日ニ於テハ貯蓄預金ノ通帳モ免除シナイ方ガ宜カラウト云フ考ヲ有ッテ居リマス、其理由ハザツト計算シマス、貯蓄預金ハ一億一千六百萬圓程デアリマス、假リソレニ對スル三錢印紙ヲ免除致シマスレバ、ソレニ依ッテ國庫ガ財源ヲ失フト共ニ同時ニ銀行ガ利益スル、其利益ハ八萬圓バカリデアリマス、此八萬圓ト云フモノハ貯蓄ノ總額一億一千六百萬ニ比較シマス、僅カ千四百二十八分ノ一ト云フ僅カノ數ニナルカラ、縱令印紙稅ヲ免除シタトコロガソレニ付テ貯金ノ利子ヲ引上ゲ、或ハ其獎勵スル方法ニナルト云フコトハ幾ド望マレナイ、只銀行ガソレダケ利得スルト云フコトニ過ギヌ、又銀行ニ於テハソレダケノ金ハサマデノ苦痛デモナイ、ツマリ貯蓄獎勵ニモ背カナイ、又此銀行トシテ大シタ苦痛デナイ、却テソレヲ減ラセバ減ラシタダケ國庫ニ多少影響ヲ及ボス、故ニ減ラサヌ、斯ウ云フ理由、ソレカラ一圓未滿ノ物品切手ニ對シテ免稅スルト云フコトニ反對デアルト申シマスハ或ハ二十錢ニ對シテ三錢ハ酷ナヤウデアリマスガ、是ハ從來斯ウ仕來リマシテ、ソレデ今一朝一夕ニ改メマスレバ、ソレニ關聯シテ他ノモノニモ大分手ノ這入ルコトニナルト思ヒマス、サスレバ一圓未滿ノ物品切手ノミナラズ、其結果歲入ニ相當影響ヲ及ボスト思ヒマスカラ、ソレモ御同意モ出來兼ネルト云フデアリマス

○安東敏之君 私ハ動議ヲ提出致シタイ、ソレハ只今司法省ノ委員カラノ御明答ニ據ルト、督促手續ノ如キ顯著ナル問題デアルニモ拘ラズ、尙且之ニ對シテ御同意ガ出來ヌト言ハレタ、然ルニ事柄ハ國家ノ豫算ニ大影響ヲ及ボス程ノ大問題デアリマスガ、全體ノ豫算ガ一夜ノ中ニ解決ノ出來ルヤウナ時節柄ニ於キマシテ、是ダケノ問題ニ付テ事々シクヤカマシク云フノモ餘リ大人氣ナイト云フ譏リガアルカモ知リマセヌガ、併ナガラ此人權擴張ノ上ニ於キマシテ、最モ簡單ニ只一片ノ督促手續ニ依ッテ訴訟事件ノ紛爭ヲ解決スルコトノ出來ル方法ガ明治二十二年——二十二年ヨリ民事訴訟法施行當時ヨリ行ハレ來ッテ居リマシタ、其例ヲ非常特別稅法ニ依ッテ改メラレテ、其非常特別稅法ヲ改廢シテ、茲ニ三元ノ主意ニ立戻ルト云フ法律案モ提出ニナッテ居リマス場合、ヤハリ非常特別稅法ノ如キ不法ノ理由ヲ以テ人權擴張ノ上ニ最モ阻害ヲ與フル結果ヲ生ズルノデアル、其結果トシテ總件全體ノ上ニ半數ヲ減ジテ居ルヤウナ結果ヲ來シテ居ルニ拘ハラズ、尙且是ホドノ明ナカ問題ニ向ッテ單ニ同意ガ出來ヌト云フダケノ御説明ハ満足スルコトガ本員ハ出來マセヌ、故ニドウカ司法、大藏兩大臣ニ御出席ヲ求メテ、而シテ之ニ付テノ理由ノ明答ヲ承リタイ、因テ本日ハ此儘散會セラレタイ動議ヲ提出スル

(贊成ト云フ者アリ)

○委員長(佐竹作太郎君) 決ヲ採リマス、只今ノ安東君ノ御説ハ本會ヲ延期スルト

云フ動議デアリマス、之ニ贊成ノ御方ノ起立ヲ請ヒマス

起立者

○橋本久太郎君 唯今ノ御論ニ贊成シタトキニハドウナリマスカ、今日大臣が來レハ宜シイガ、來ナケレハ吾々ハ贊成セヌノデス

○委員長(佐竹作太郎君) ソレデハ大臣ノ御都合ヲ聞キニヤリマス

(此時大藏司法兩大臣ノ出席ヲ請求ス)

○委員長(佐竹作太郎君) 兩大臣トモ出席ハムツカシイト云フコトデスガ、今大藏次官が參ルト云フコトデアリマス

(此時大藏次官ノ出席ヲ請求ス)

○委員長(佐竹作太郎君) 今日ハ是デ散會致シマス、明日ハ午前十時ニモウ一回御寄リヲ願ヒマス

午後二時一分散會